

C1240486 押切玲奈

私は、これまで以上に利用したくなる図書館を作るために、もっと複数人で勉強できるスペースを作る案を挙げる。いくつかある図書館の利用をしづらい理由として、「複数人での勉強をしづらい」という項目に注目した。

私は、小学校、中学校、高校と図書委員会に所属していて、勉強をする場所というより、本を借りる場所、本を読む場所というイメージが強いと感じた。また、図書館は、静かにしなければならないイメージがあり、グループで勉強することを遠慮してしまうことが多い。委員会では、図書館で勉強しようと呼びかけをし、友人を図書館での勉強に誘ってみたが、結局図書館で勉強する人が増えなかった。元より、勉強する以前に、本を借りに来る人、図書館に来る人は少なかった。来たとしても、いつもくる人は同じ人であり、新しく図書館に来る人を増やすことが出来なかった。

その経験から、複数人で勉強できる場所を作ることで、図書館にくる人を増やせると感じた。図書館で本を読む人、借りる人を増やすより、勉強する人を増やす案を挙げた理由は、本を借りる時間はさほど時間がかからず、図書館の滞在時間が短いと考えたためである。同様に本を読む人は、図書館で読むより、自分の家で読む人が多いと考え、図書館で本を読む人を増やしづらいと考えたからである。だが、図書館で勉強する人は、図書での滞在時間が長く、さらに、複数人で勉強することで、図書館に来る人を増やすことが出来るのである。

図書館には、e ラーニング室という場所があるが、図書館の人に許可を取らなければならぬため、気軽に利用することが出来ない。また、e ラーニング室は 1 グループが入ることが出来るほどの広さしかないので皆が複数人での勉強が出来ないのである。

上記でも述べたとおり、私の経験上、図書館は勉強する場所というより、本を読む場所であるイメージが多くの人々に残っており、図書館で勉強したとしても、図書館は静かにしていかなければならないため、友達と教え合いながらの勉強をしづらいことも、図書館に来る人が少ない原因と一つだと感じる。もっと気軽に複数人で勉強できるグループ学習室を作ることで、この原因を無くすことが出来る。

今まで、複数人で勉強できる案を挙げてきたが、その空間が使われなければ、意味がないため、図書館は本を借り、本を読む場所から、複数人で勉強出来る場所へとイメージを変えることが大切である。